

平成 21 年 5 月 12 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：平成 20～平成 21 年度

課題番号：19520215

研究課題名 (和文) ゲーテの象徴形式と魔術的・錬金術的伝統

研究課題名 (英文) Goethe's Symbolic Forms and the Magic-Alchemical Tradition

研究代表者

高橋義人 (TAKAHASHI YOSHITO)

京都大学・大学院人間・環境学研究科・教授

研究者番号：70051852

研究成果の概要：ルネサンス以降、人間の感性と理性が分離するとともに、二つの知的系譜（文系と理系）に世界は分裂していった。この分裂は F・ベーコンによって決定的になった。他方、感性と理性の統合を目指す動きもまた存在した。その第一はレオナルドであり、第二は魔術的・錬金術的運動である。レオナルドが、自然は完全には探究しがたいと信じていたのに対して、錬金術師たちは、太陽の生命力（プリマ・マテリア）を抽出しようと無駄な努力を重ねた。ニュートンもじつは錬金術的な伝統の継承者である。本研究は、若い頃、錬金術の研究に傾倒していたゲーテが、やがてレオナルド的な立場に立ち、ニュートンの・ベーコン的な近代科学の批判こそ自らの使命だと考えるようになった経緯を明らかにしている。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 19 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
平成 20 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
年度			
総計	2,100,000	630,000	2,730,000

研究分野：ヨーロッパ文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学（英文学を除く）

キーワード：ルネサンス、ゲーテ、レオナルド・ダヴィンチ、錬金術、ニュートン、カッシーラー、F・ベーコン、マイクロコスモス

1. 研究開始当初の背景

カッシーラーはヨーロッパ文化の正統的な流れを、ルネサンスの魔術的人文主義からケンブリッジのプラトン学派やルソーを経てゲーテにいたる系譜のなかに位置づけるとともに、こうした一見すると「非合理主義的」な伝統を近代科学の新しい「合理主義的」な伝統に対置させている。このよう

にゲーテを、ルネサンスの魔術的伝統と結びつけて捉える研究はこれまであまりなされてこなかったし、ヨーロッパを真に知ろうとすれば、近代ヨーロッパの隠された魔術的・錬金術的伝統に踏み込まなくてはならない。

2. 研究の目的

①ルネサンスの人文主義的伝統とゲーテとの関係、②若きゲーテと錬金術との関係、③錬金術と近代科学の関係（錬金術師ニュートン）、④ゲーテはなぜ「錬金術としての近代科学」を批判したか。

3. 研究の方法

①ゲーテとルネサンス、ゲーテと錬金術の関係の文献学的調査、②近代科学と錬金術の関係の科学史的調査・探究、③東京やドイツでの研究打ち合わせ、情報収集、

4. 研究成果

①ルネサンスの人文主義的伝統とゲーテとの関係については、レオナルドとゲーテとの親近性が明らかになった。②若きゲーテが錬金術の研究を相当に熱中して行っていたことが分かった。③錬金術と近代科学との関係を調べていくうちに、F・ベーコンが今日の非人文主義的な近代科学の礎を築いたことが判明した。④ゲーテが近代科学を批判するのは、それがルネサンス以降の人文主義的伝統を等閑視しているからであることが詳らかにされた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 8 件）

・ Yoshito Takahashi: Goethe und die Alchemie. Jahrbuch für Internationale Germanistik: 2008 P. Lang, S. 283-292

・ Yoshito Takahashi: Goethes Farbenlehre und die Identitätsphilosophie, Goethe-Jahrbuch 124, 2008, S. 105-114

・ 高橋義人「人文主義か科学主義か——ルネサンスの3つの知的系譜を探る」、『文明と哲学』（燈影舎）第1巻、2008、pp. 86-101

・ Yoshito Takahashi: Osamu Tezuka's Neo-Faust und der Homunculus-Plan. J. Goltz & A. Hsia (Hg.): „Orient und Okzident. Zur Faustrezeption in nicht-christlichen Kulturen. 2009, Böhlau, S. 205-217

〔学会発表〕（計 10 件）

・ Yoshito Takahashi: Im Schatten des Deutschen. Die japanische Aufnahme der deutschen Kultur am Beispiel von Grimms Märchen. Gesellschaft fuer Interkulturelle Germanistik 2007.8.23, Tampere University in Finland

・ 高橋義人「フランス革命から近代の終焉まで——ゲーテの千里眼的歴史洞察」、ヘルダー学会、08年11月2日、関西学院大学

・ 高橋義人「ゲーテ自然科学はなぜ「もうひ

とつ科学か」、ゲーテ自然科学の集い・第41回総会、08年11月3日、京都大学
・ 高橋義人「フマニスムの歴史における〈こころ〉と〈暴力〉」、こころ観研究会、08年12月18日、京都大学

〔図書〕（計 1 件）

・ 高橋義人『祭り——刻印された集団記憶』、日独文化研究所、2008年、60頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高橋義人 (TAKAHASHI YOSHITO)

京都大学・大学院人間・環境学研究所・教授

研究者番号：70051852